

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は、2015年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会要項および本競技会申し合わせ事項により運営する。
2. プログラムの訂正について
プログラム記載内容の訂正は、大会プログラムにある所定用紙を切り離し記入の上、各種目開始時刻の1時間前までに大会総務へ提出すること。なお種目の変更ならびに組の変更は認めない。
3. 競技者招集については、次のとおりとする。
 - (1) 第1次招集は、プログラム記載の各組スタート予定時刻の30分前から15分前までの間に、100mスタート付近に設置される招集所にてチェックを受けること。チェックを受けた競技者にのみ腰ナンバー標識を配布する。
なお、第1次招集でチェックを受けていない競技者（＝腰ナンバー標識を受領していない競技者）は出場できないものとする。
 - (2) 第1次招集にて、チェックを受けて腰ナンバー標識を受領した選手は、各自において速やかに各スタート地点へ移動すること。（係員による誘導はしない。）
 - (3) 第2次（最終）招集は、各種目のスタート地点において、各組スタート予定時刻の10分前から5分前までの間に行う。各組スタート予定時刻ならびに招集開始時刻は競技日程を参照のこと。
4. ナンバーカード・腰ナンバー標識については、次のとおりとする。
 - (1) ナンバーカードは、競技者受付時に主催者が配布したものを、胸および背に付けること。なお、配布した胸・背ナンバーカードについては、返却する必要はない。
 - (2) 腰ナンバー標識は、主催者が用意するものを着用すること。なお各レース終了後にフィニッシュ地点で回収するので、持ち帰ることのないよう忘れずに返却すること。
5. 組・走路順については、本プログラム記載のとおりとする。なお、小学女子800mについてはオープンレーンにて競技を行う。
6. スパイクシューズのピンについては、競技場が全天候型舗装につき、7mm以下のオールウェザー用を使用すること。
7. 制限時間について
競技進行上、競技日程に記載の制限時間により、レースを打ち切る。
コースアウトのアナウンスがあったときは、速やかにレースを止め、コース外に出ること。
なお、コース外に出た場合の腰ナンバー標識の返却を忘れないこと。
8. 競技者はフィニッシュする際、ホームストレッチに入ったら第3レーンより外側（カラーコーン設置）を走り、フィニッシュすること。
9. 練習場について
本競技場はサブトラックが無い場合、バックストレッチ外側の指定されたエリア内で行うこと。
10. 表彰について
小学生種目は各組の3着まで、それ以外の種目は各組の1着に賞品を授与する。
授与式は各組レースが終了しだい、ただちに行うので、該当者は係員の指示に従い移動すること。
11. 競技場内での応援について
本競技会は競技場内での応援を認めるが、指定されたエリア内において行うこと。
12. その他について
 - (1) プログラムに記載のない事項については、大会総務がその都度連絡する。
 - (2) 本大会における傷害事故は主催者において応急処置はするが、その後の責任については負わないので、競技に出場の際は競技者各自で十分注意すること。